

2019年12月期 (第2四半期) 決算短信補足資料

2019年8月13日(火)



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

We Craft Your Imagination

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと
We craft your imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、
それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

Mission

ビジョン実現に向けて、日本創発グループがなすべきこと

チームワーク

お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、
ベスト・パートナーとなることをめざします。そのため
にも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技

私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、
それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質

納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォ
ローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳の
ない高い品質を実現します。

Value

ビジョンとミッションの下、

日本創発グループがお客さまや社会に提供する価値

プラスαの追求

私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える
成果をお届けし、その笑顔を見送ること。もっと
その笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、
お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

我が事として

私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、
お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、
そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力

私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と
会社がつびつき、切磋琢磨している集団です。そこに
息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しな
がら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。










新しいカタチ

私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力
と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、
今まで見たことのないカタチでターゲットの心に
刻みつけていきます。

良き市民

私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、
業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、
誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

グループ会社 Group company

	印刷・製造事業	メーカー・OEM
<p>連結対象 子会社 議決権比率： 50%～100%</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p> 日経印刷株式会社</p> <p>日経印刷株式会社</p> <p> TANAKA</p> <p>田中産業株式会社</p> <p> Lithmatic</p> <p>東京リスマチック株式会社</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p> BISHODO</p> <p>株式会社美松堂</p> <p> MGS</p> <p>株式会社MGS</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p> 株式会社エム・ピー・ピー</p> <p>株式会社エム・ピー・ピー</p> <p> 宏和樹脂工業株式会社</p> <p>宏和樹脂工業株式会社</p> <p> SMILE FLAG</p> <p>株式会社スマイル</p> <p>株式会社スマイル</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p> 株式会社 サカモト</p> <p>株式会社サカモト</p> <p> colore co.,ltd.</p> <p>株式会社コロレ</p> <p> 株式会社あみューズ</p> <p>株式会社あみューズ</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p> 株式会社 エヌビー社</p> <p>株式会社エヌビー社</p> <p> EDICOS ENTERTAINMENT CO.,LTD.</p> <p>株式会社メディコス・エンタテインメント</p> </div> </div>
<p>持分法対象 子会社 議決権比率： 50%～100%</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p> カタオカプラスエス株式会社</p> <p>カタオカプラスエス株式会社</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p> HAL</p> <p>株式会社ハルプロモーション</p> </div> </div>	
<p>持分法対象 関連会社 議決権比率： 20%～50%</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p> cyber net</p> <p>株式会社サイバーネット</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p> IMAGEMAGIC</p> <p>株式会社イメージマジック</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p> APRISE</p> <p>株式会社アプライズ</p> <p>株式会社アプライズ</p> </div> </div>	
<p>持分法適用外 関連会社 議決権比率： 0%～20%</p>		

グループ会社 Group company

	デジタルコンテンツ事業	セールスプロモーション・ロイヤルカスタマー	グループ サポート ソリューション
連結対象 子会社 議決権比率： 50%～100%	 CAD CENTER 株式会社キャドセンター  EXECTION <small>Information Technology Consulting</small> 株式会社エグゼクション  Crowd Gate クラウドゲート株式会社  SONIC JAM 株式会社ソニックジャム	 popal <small>株式会社ポパル</small> 株式会社ポパル  ANSTY 株式会社アスティ  DONE SCIENCE ダンサイエンス株式会社  サンエーカガク印刷 <small>Sanei Chemistry Printing</small> サンエーカガク印刷株式会社  SEIO <small>PRINTING CO., LTD.</small> 成旺印刷株式会社  大熊整美堂 株式会社大熊整美堂  PRESEEZ 株式会社プレシーズ  PICO プリンティングイン株式会社	 メイワ <small>me iwa</small> 明和物産株式会社  日経土地株式会社
持分法対象 子会社 議決権比率： 50%～100%	 FIVESTAR <small>INTERACTIVE</small> 株式会社Fivestar interactive  HELLO, WORLD 株式会社ハロー・ワールド	 kyocolo 株式会社キョーコロ  kids Planning Co., Ltd. キッズプランニング株式会社  popal <small>株式会社ポパルプロダクツ</small> 株式会社ポパルプロダクツ	 MC <small>MARKETING DIRECTIONS</small> 株式会社マーケティングディレクションズ  G1 株式会社ジー・ワン  Playce 株式会社プレイス  ANCO 株式会社ビアンコ
持分法対象 関連会社 議決権比率： 20%～50%			 NRI <small>NRIインテグラル・グラフィックス</small> NRIフィナンシャル・グラフィックス株式会社
持分法適用外 関連会社 議決権比率： 0%～20%	 ALPHA CODE 株式会社アルファコード  Five for 株式会社Five for  TOUCHCARD Touchcard株式会社	 SASAO GS 株式会社ササオジーエス	 LAUNSELOT <small>Graphic Design Inc.</small> 株式会社ランスロットグラフィックデザイン  SO-KEN 株式会社SO-KEN (ソウケン)

00 2019年12月期 計画数値

(単位：百万円)

	2018年実績	2019年予算	2020年計画
売上高	51,145	53,000 (対前年 + 3.6%)	55,000
営業利益	1,612	2,000 (対前年 + 24.1%)	2,200
経常利益	1,234	2,000 (対前年 + 62.1%)	2,200
純利益	▲ 959	1,200	1,300
EBITDA	3,691	4,085 (対前年 + 10.7%)	4,280

01 2019年からの事業戦略

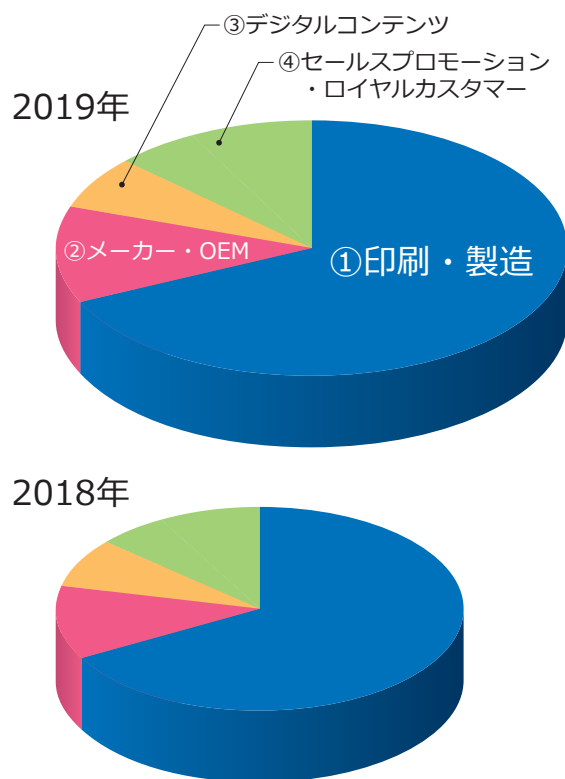
「技術を駆使して、心を動かすクリエイティブを提供するグループへ」

1. 商材・サービスの充実、提案力の向上により一層の信頼を勝ち取る
2. シナジー効果による業務効率の向上、内製率アップでコストを削減
3. 3D、AR、VR、MRなどデジタルコンテンツの活用提案を拡大
4. 適切な人員配置を迅速かつ柔軟に可能とする環境を整備
5. 健全・積極的な財務戦略・株主還元の重視

02 2019年12月期 第2四半期の要約

連結業績概況

売上構成比

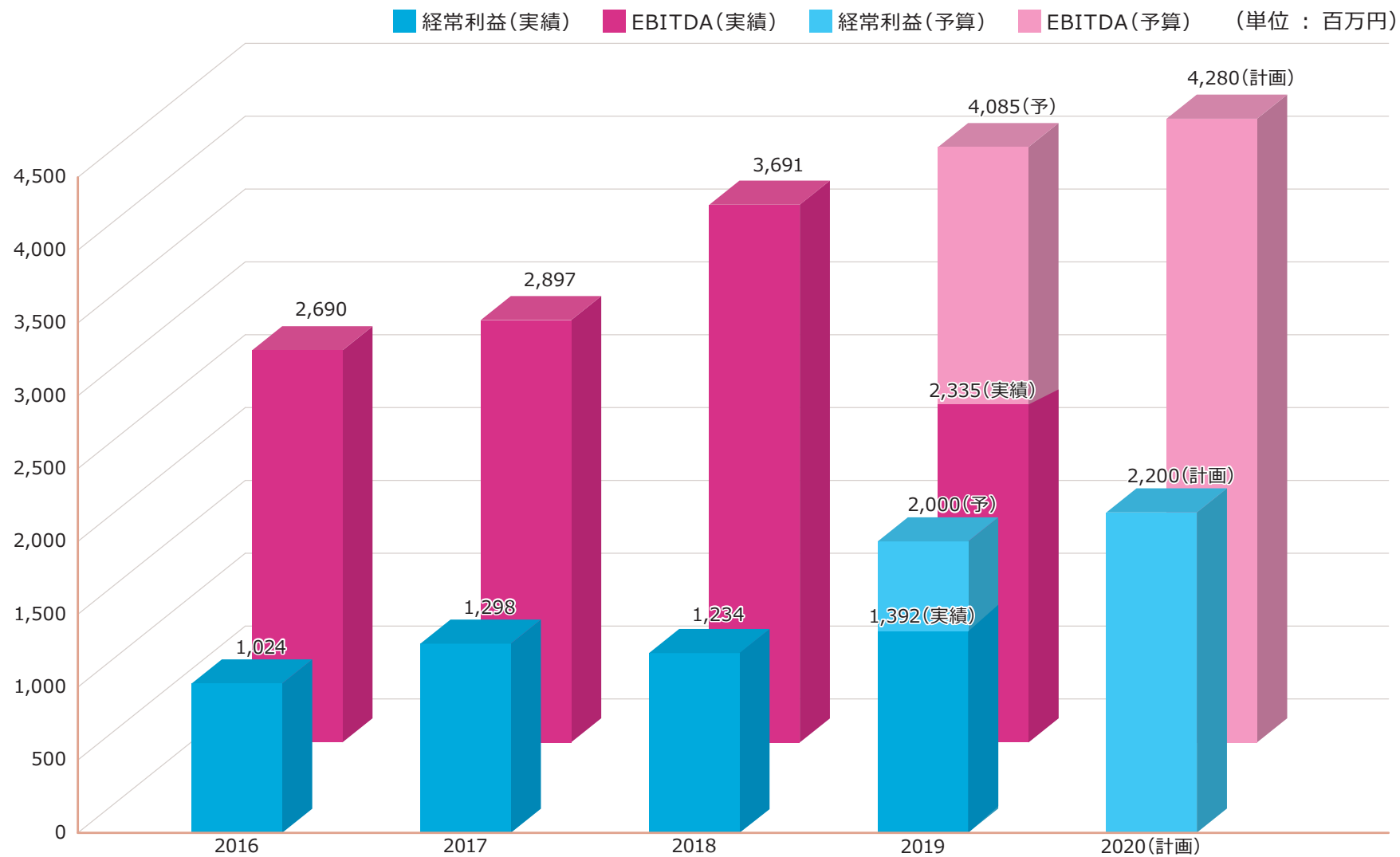


売上高 24,091百万円 ⇒ **26,861**百万円 **+ 11.5%**

各事業分野の概況

①印刷・製造事業	対前年 + 14.1%
構成比 67.0% →	68.1%
②メーカー・OEM事業	対前年 + 16.8%
構成比 11.8% →	12.3%
③デジタルコンテンツ事業	対前年 ▲ 2.7%
構成比 7.7% →	6.7%
④セールスプロモーション ・ロイヤルカスタマー事業	対前年 + 7.4%
構成比 13.5% →	12.9%

03 2019年12月期 第2四半期実績



※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

04 2019年12月期 第2四半期のトピックス

1. 新たに参画した3社

- ・株式会社スマイル 香川県高松市
(連結子会社：100%)



事業の特性

布を中心とした染色・印刷に特化

- A) シルクスクリーン印刷
- B) インクジェット印刷
- C) 縫製までの一括製造

グループシナジーの想定

- ・ イベント向け需要の拡大
- ・ 内製化率の向上

04 2019年12月期 第2四半期のトピックス

1. 新たに参画した3社

- ・ **株式会社アプライズ** 静岡県浜松市
(持分法対象関連会社：37.5%)



事業の特性

総合印刷・代理店業・メディア

- A) デザイン・企画
- B) 代理店機能
- C) Web・印刷
- D) 地域密着（東海地方）

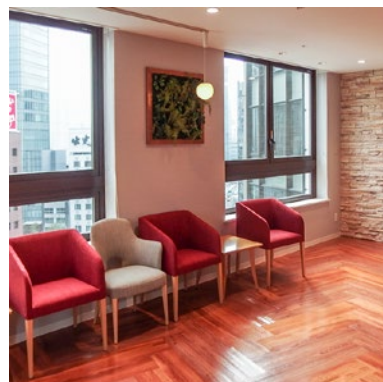
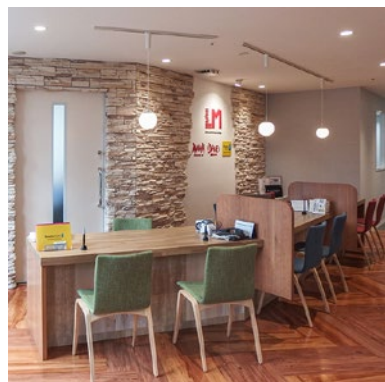
グループシナジーの想定

- ・ 東海、中部地域の拠点
- ・ システム統合 ⇒ 出力拠点（物流の効率化）
- ・ 内製率の向上

04 2019年12月期 第2四半期のトピックス

1. 新たに参画した3社

- ・株式会社ササオジーエス 東京都江東区
(持分法適用外関連会社：100%)



事業の特性

空間ディスプレイ・施工

- A) 出力は東京リスマチック
SDS 深川と協力
- B) 空間ディスプレイに強み
- C) 内装工事・屋外広告工事の
免許保持*

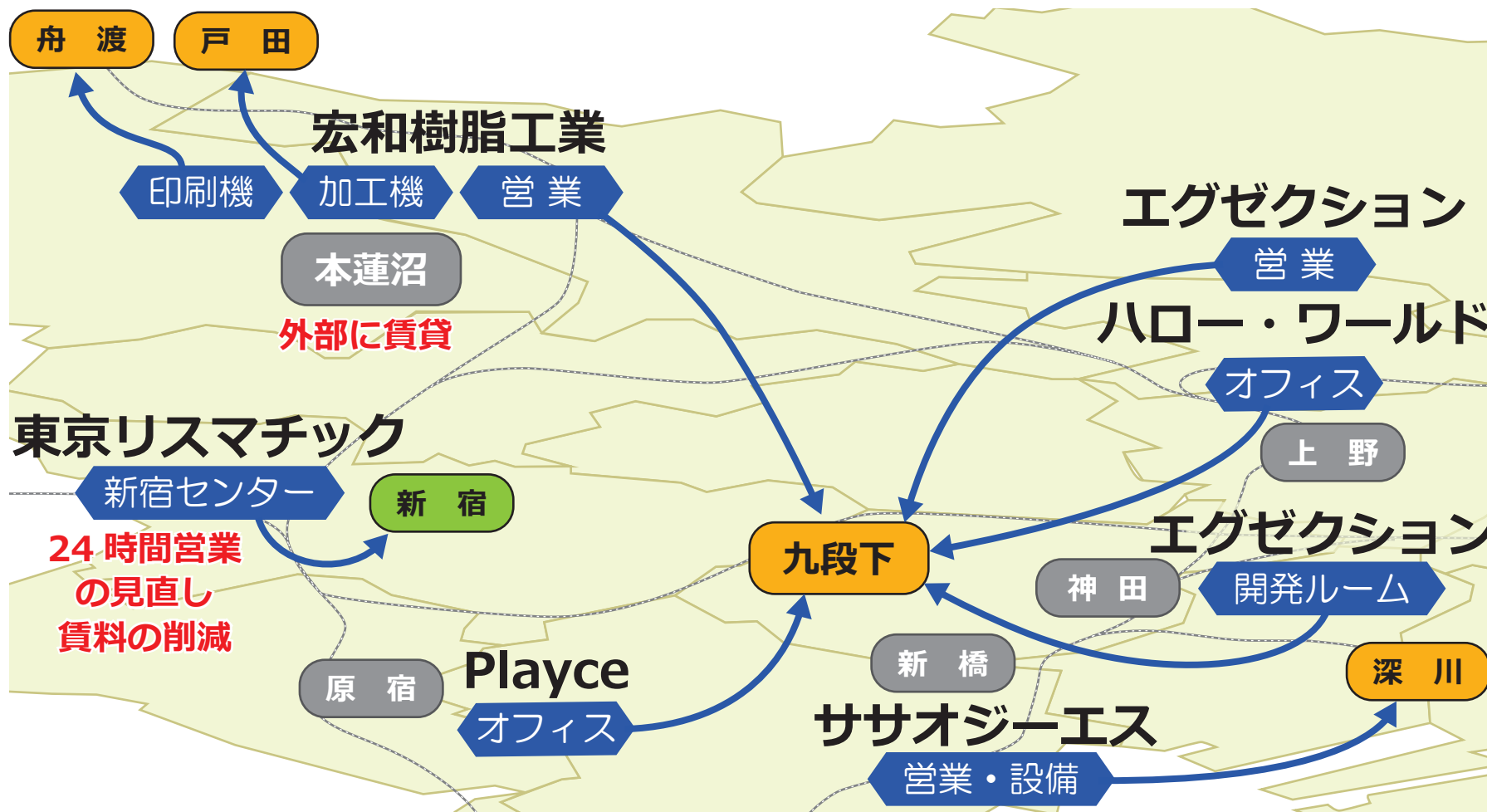
グループシナジーの想定

- ・店舗ディスプレイ
⇒ 店舗プロデュース
- ・内製化率の向上

*内装仕上事業 東京都知事許可：(般-28) 第145633号
東京都屋外広告登録：都広() 第2997号

04 2019年12月期 第2四半期のトピックス

2. 事業所・工場・設備等の効率的再配置



04 2019年12月期 第2四半期のトピックス

3. キャドセンターのREAL 3DMAP TOKYO夜景が VFX-JAPAN アワード 2019 優秀賞を受賞



04 2019年12月期 第2四半期のトピックス

4. ファイブフォーのインバウンド向けアミューズメント施設『VR忍者道場』オープンにグループ各社が協力



内外装・演出

- A) グリーンバック用ターポリン
- B) ファザード
- C) タペストリー等演出用装飾物
- D) 小道具制作
(3Dプリンターによる刀の束等)
- E) 各種販促物制作 (フライヤー等)

映像コンテンツ

- A) キャラクター制作 (クラウドゲート)
- B) VR空間データ制作 (キャドセンター)
- C) 公式Webページ制作
(FIVESTARinteractive)

04 2019年12月期 第2四半期のトピックス

5. 財務的戦略

1. 2018年12月期にのれんの減損等を行った。

- ・年間で約4億円のPLプラス要因 ⇒ EBITDAへの影響はゼロ
- ・M&Aの基準を明確化
- ・資産効率を意識した経営判断

2. 自己株式買付を実施

- ・総還元のかえ方で株式価値を意識
- ・自己株式 10万株 約83百万円 (2019年6月5日~7月4日)

3. 社外取締役(監査等委員)の増員によるオーデイト体制強化

6. その他

1. 芝サンプルパーク(ショールーム)の開設

2. グループ共同による入社式~導入研修

05 2019年12月期 第2四半期実績(連結)

(単位：百万円)

	2019年12月期 2Q実績(A)	2019年12月期 2Q計画(B)	差 異(A-B)		2018年12月期 2Q実績(C)	差 異(A-C)	
	金 額	金 額	金 額	対計画比 増減率	金 額	金 額	対前期比 増減率
売上高	26,861	25,500	1,361	+ 5.3%	24,091	2,770	+ 11.5%
営業利益	1,226	850	376	+ 44.2%	671	555	+ 82.7%
営業利益率	4.6%	3.3%	—	—	2.8%	—	—
経常利益	1,392	850	542	+ 63.8%	765	627	+ 82.0%
経常利益率	5.2%	3.3%	—	—	3.2%	—	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	825	600	225	+ 37.5%	591	234	+ 39.6%
当期純利益率	3.1%	2.4%	—	—	2.5%	—	—
EBITDA	2,335				1,818	517	+ 28.4%

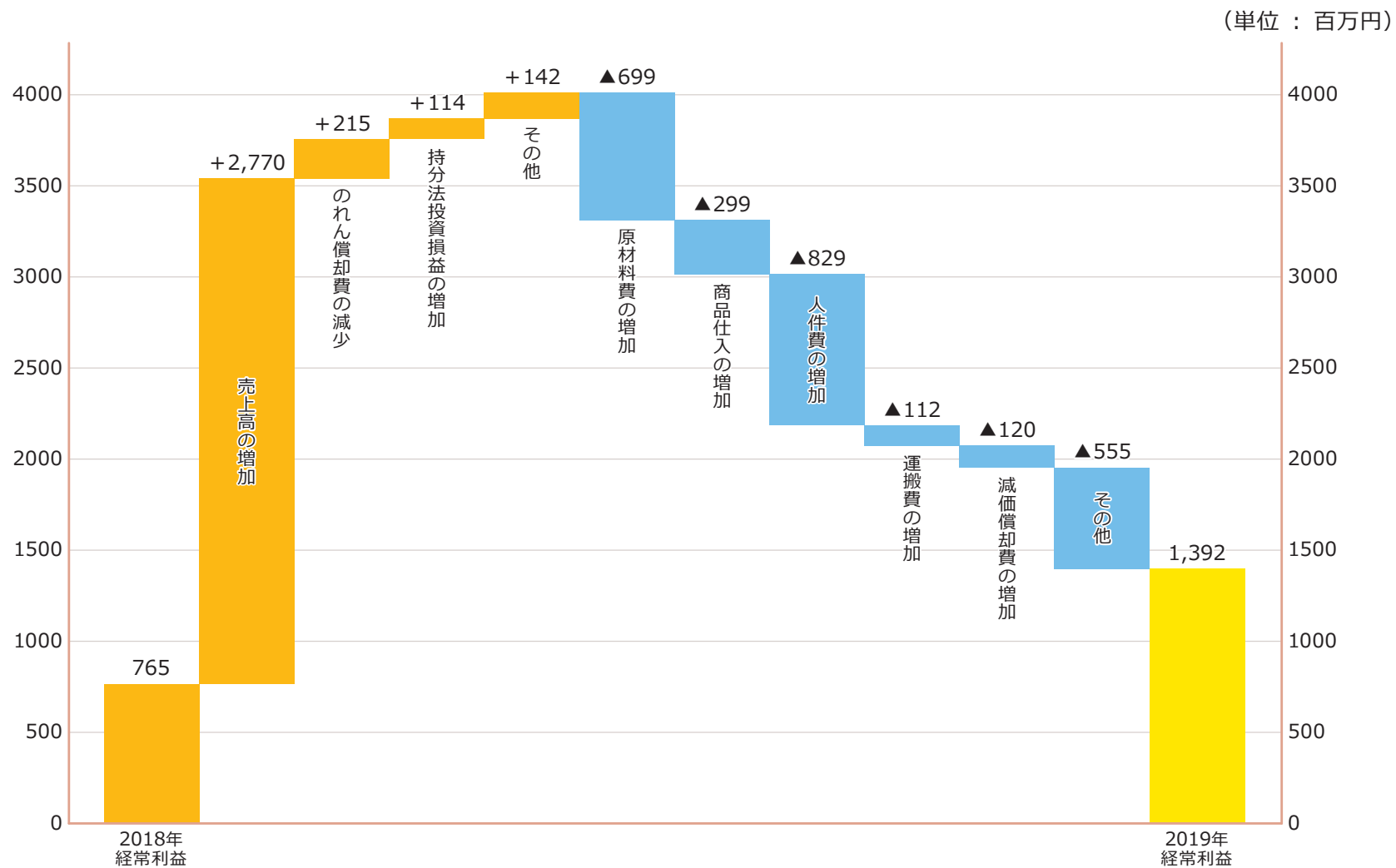
06 連結損益計算書概況

(単位：百万円)

		2019年12月期2Q (実績)	2018年12月期2Q (実績)	前期比増減	増減率
A	売上高	26,861	24,091	2,770	11.5%
B	原材料費	5,917	5,218	699	13.4%
	商品仕入	472	173	299	172.8%
	外注加工費	6,064	6,081	▲17	▲0.3%
	運搬費・著作権料・保管費	1,036	906	130	14.3%
	その他の原価	101	35	66	188.6%
A - B		13,271	11,678	1,593	13.6%
人件費		7,981	7,152	829	11.6%
減価償却費		801	681	120	17.6%
のれん償却費		24	239	▲215	▲90.0%
リース費用		40	29	11	37.9%
貸倒費用		1	▲8	9	▲112.5%
営業利益		1,226	671	555	82.7%
経常利益		1,392	765	627	82.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益		825	591	234	39.6%

07

2019年12月期 第2四半期 連結経常利益増加の要因



08 連結貸借対照表(資産の部)

(単位：百万円・%)

科 目	2019年12月期2Q		2018年12月期 期末		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
流動資産	21,890	42.2%	20,642	41.3%	1,248	6.0%
現金及び預金	6,785	13.1%	5,558	11.1%	1,227	22.1%
受取手形及び売掛金	11,285	21.8%	11,770	23.6%	▲485	▲4.1%
たな卸資産	2,156	4.2%	2,131	4.3%	25	1.2%
短期貸付金	986	1.9%	246	0.5%	740	300.8%
その他	910	1.8%	1,014	2.0%	▲104	▲10.3%
貸倒引当金	▲232	▲0.4%	▲169	▲0.3%	▲63	37.3%
固定資産	29,986	57.8%	29,309	58.7%	677	2.3%
有形固定資産	22,523	43.4%	22,803	45.7%	▲280	▲1.2%
建物及び構築物	6,566	12.7%	6,510	13.0%	56	0.9%
機械装置及び運搬具	3,182	6.1%	3,243	6.5%	▲61	▲1.9%
土地	12,398	23.9%	12,378	24.8%	20	0.2%
その他	375	0.7%	670	1.3%	▲295	▲44.0%
無形固定資産	1,019	2.0%	1,003	2.0%	16	1.6%
のれん	145	0.3%	83	0.2%	62	74.7%
その他	877	1.7%	919	1.8%	▲42	▲4.6%
投資その他の資産	6,439	12.4%	5,503	11.0%	936	17.0%
投資有価証券	3,873	7.5%	3,061	6.1%	812	26.5%
繰延税金資産	161	0.3%	105	0.2%	56	53.3%
その他	2,423	4.7%	2,372	4.7%	51	2.2%
貸倒引当金	▲18	0.0%	▲36	▲0.1%	18	▲50.0%
資産合計	51,877	100.0%	49,951	100.0%	1,926	3.9%

09

連結貸借対照表(負債及び純資産の部)

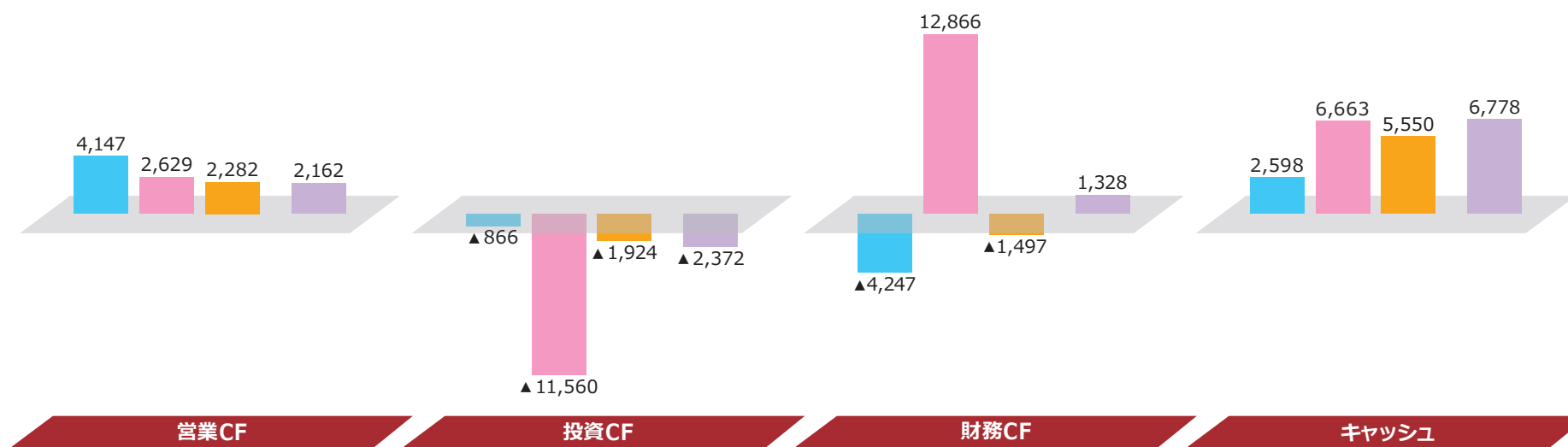
(単位：百万円・%)

科 目	2019年12月期2Q		2018年12月期 期末		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
流動負債	29,572	57.0%	27,432	54.9%	2,140	7.8%
買掛金	3,218	6.2%	3,259	6.5%	▲41	▲1.3%
短期借入金	21,000	40.5%	18,050	36.1%	2,950	16.3%
1年以内返済予定長期借入金	1,200	2.3%	1,717	3.4%	▲517	▲30.1%
未払法人税等	542	1.0%	501	1.0%	41	8.2%
その他	3,611	7.0%	3,902	7.8%	▲291	▲7.5%
固定負債	10,599	20.4%	11,546	23.1%	▲947	▲8.2%
長期借入金	6,900	13.3%	7,500	15.0%	▲600	▲8.0%
繰延税金負債	405	0.8%	522	1.0%	▲117	▲22.4%
退職給付債務	924	1.8%	901	1.8%	23	2.6%
資産除去債務	109	0.2%	98	0.2%	11	11.2%
その他	2,259	4.4%	2,524	5.1%	▲265	▲10.5%
負債合計	40,172	77.4%	38,978	78.0%	1,194	3.1%
資本金	400	0.8%	400	0.8%	0	0.0%
資本剰余金	4,931	9.5%	4,926	9.9%	5	0.1%
利益剰余金	6,543	12.6%	5,800	11.6%	743	12.8%
自己株式	▲1,341	▲2.6%	▲1,279	▲2.6%	▲62	4.8%
非支配株主持分、その他	1,170	2.3%	1,125	2.3%	45	4.0%
純資産合計	11,704	22.6%	10,973	22.0%	731	6.7%
負債・純資産合計	51,877	100.0%	49,951	100.0%	1,926	3.9%

10 キャッシュ・フロー

■ 2016年12月期 ■ 2017年12月期 ■ 2018年12月期 ■ 2019年12月期2Q (単位：百万円)

	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,147	2,629	2,282	2,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲866	▲11,560	▲1,924	▲2,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲4,247	12,866	▲1,497	1,328
現金及び現金同等物の期末残高	2,598	6,663	5,550	6,778



11 2019年12月期業績(連結)の見通し

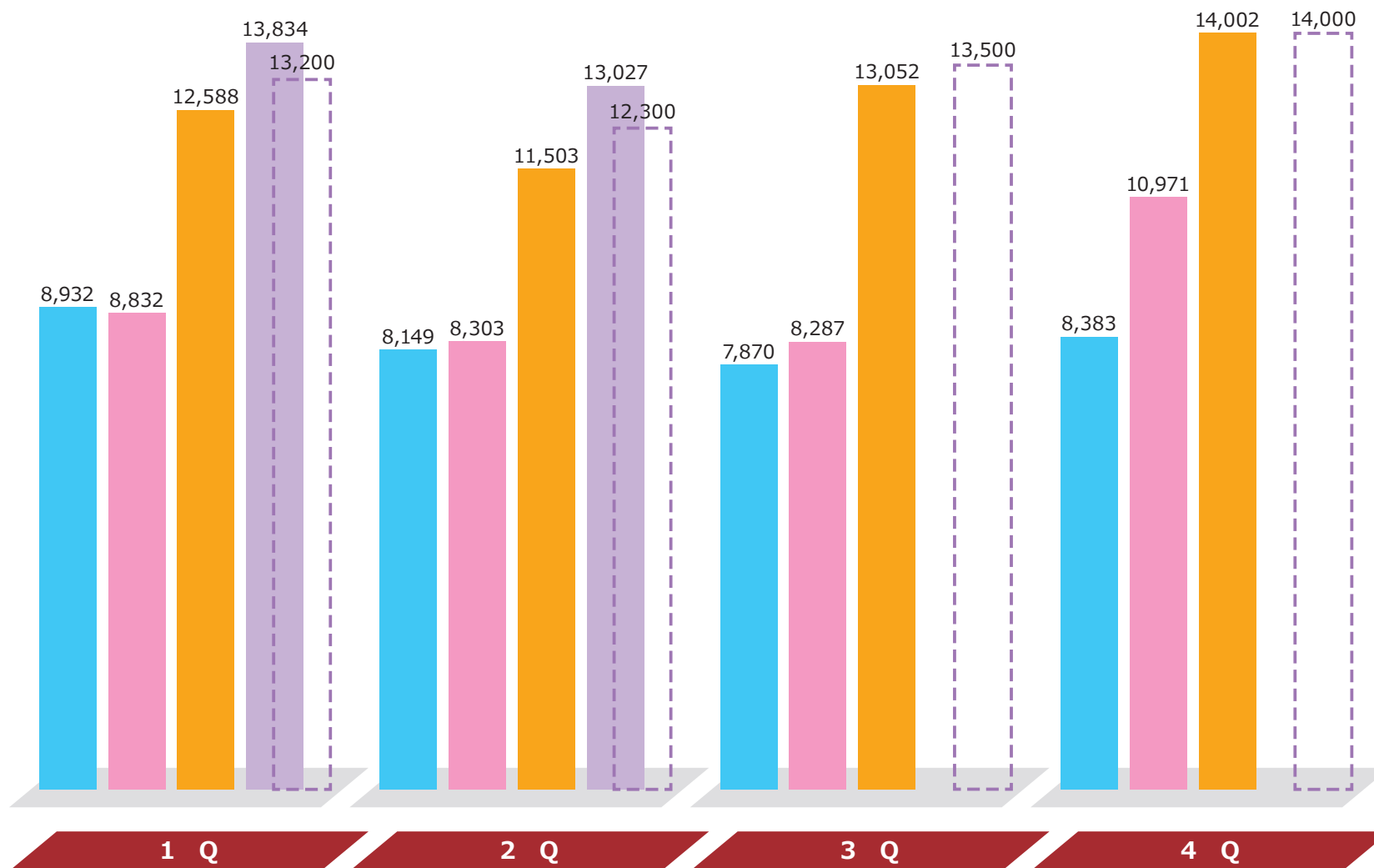
(単位：百万円)

	2018年12月期 (実績)	2019年12月期 (計画)	前 期 比	
			差 額	増減率
売上高	51,145	53,000	1,855	+ 4%
営業利益	1,612	2,000	388	+ 24%
経常利益	1,234	2,000	766	+ 62%
EBITDA	3,691	4,085	394	+ 11%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲ 959	1,200	2,159	—
EPS (円 銭)	▲ 75円38銭	95円93銭	171円31銭	—

※ EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

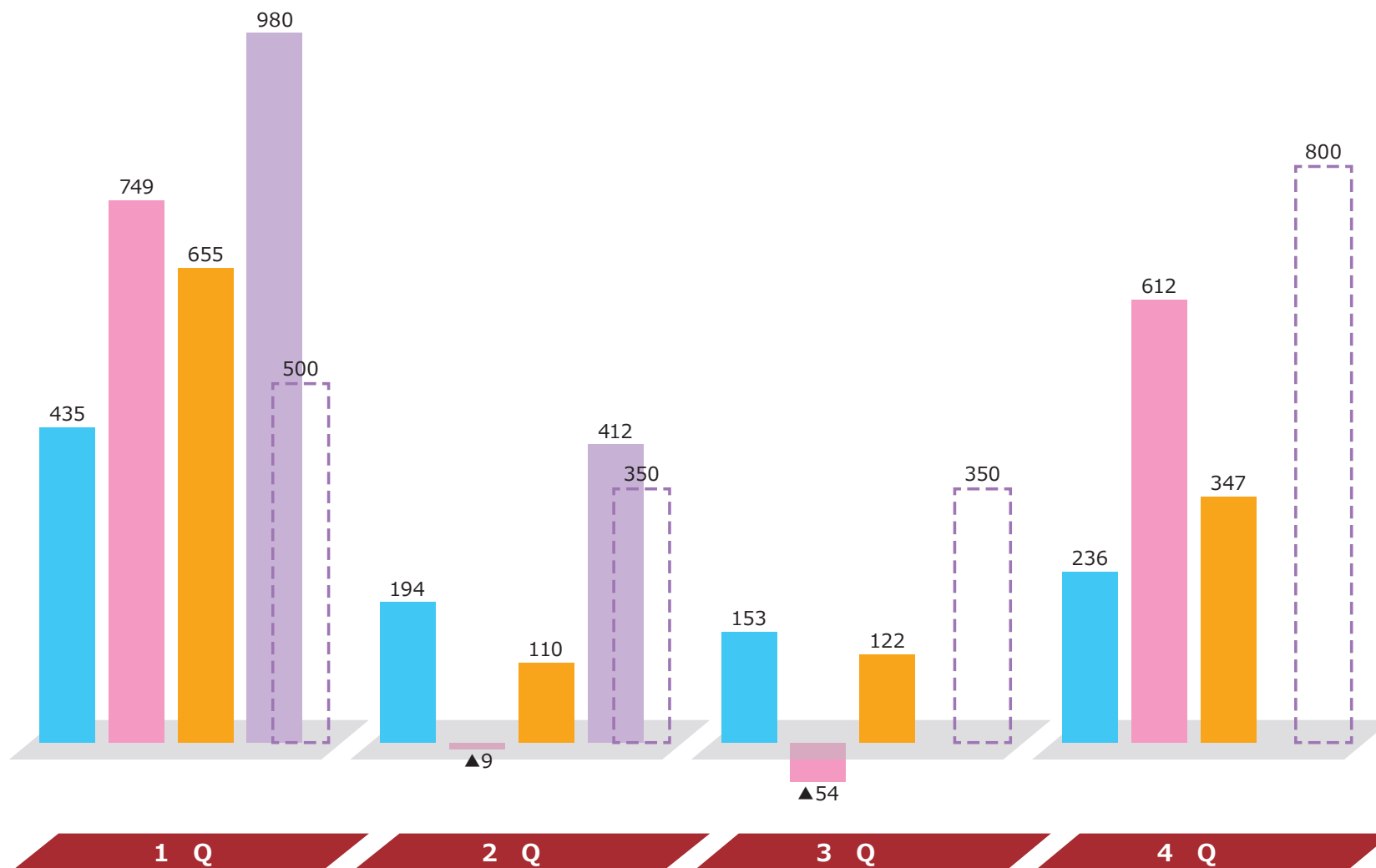
12 四半期売上高の推移(連結)

■ 2016年12月期 ■ 2017年12月期 ■ 2018年12月期 ■ 2019年12月期 □ 2019年12月期予算 (単位：百万円)



13 四半期経常利益の推移(連結)

■ 2016年12月期 ■ 2017年12月期 ■ 2018年12月期 ■ 2019年12月期 □ 2019年12月期予算 (単位：百万円)



14 計画数値

(単位：百万円)

		2018年度(実績)	2019年度(予算)	2020年度(計画)
P L	売上高	51,145	53,000	55,000
	減価償却費	1,673	1,750	1,650
	のれんの償却額 内 連結対象子会社	610 482	200 100	300 150
	営業利益	1,612	2,000	2,200
	経常利益	1,234	2,000	2,200
	親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 959	1,200	1,300
	EBITDA 成長率	3,691 + 27.4%	4,085 + 10.7%	4,280 + 4.8%

本日は決算説明会へのご参加 ありがとうございました。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

U R L : <https://www.jcpjg.co.jp/>

E-mail : cp@jcpjg.co.jp

T E L : (03)5817-3061 IR担当